

男女共同参画通信 「ちょこっと」 Vol. 1

兵庫県理学療法士会 男女共同参画推進委員会 情報紙サークル 2025年3月発行

～女性も男性も活躍できていますか？～

性別による差はいたるところにあります。性別問わずお互い協力して仕事をするということは、どういうことなのか。「男女共同参画推進委員会」では、これらの課題に取り組んでいます。

当県士会で、男女共同参画推進委員会が発足して数年。研修会の開催やアンケートの実施、小サークルでの会員からの意見交換を行ってきましたが、今回、今までの活動を踏まえて情報紙を作成しました。みなさんがよりよく働くために、「ちょこっと」耳寄りな情報をお届けしたいと思います

役員の男女比、知っていますか？

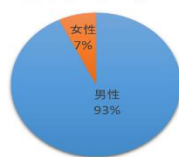
2023・2024年度 部員、支部運営委員、委員の女性比率は？

⇒17.8%（女性45名、男性208名）

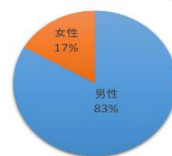
2023・2024年度 部長、支部長、委員長の女性比率は？

⇒7.1%（女性2名、男性26名）

各部署の長の構成



各部・各委員会の構成



数少ない女性の部長として活躍されている藤井先生に、
お話しをお聞きしました

～部の活動の紹介～ 保健福祉部

保健福祉部は、『他職種と一緒に、（主に高齢者の）在宅生活を保障することができる理学療法士の育成』を目指し、現在12名で活動しています。部員の男女比は2:1、所属は病院・在宅・施設・大学・その他と多岐にわたります。

近年は、地域ケア会議推進リーダー導入研修、コミュニケーション研修、姿勢と動作の理解（技術研修）、福祉用具研修（2テーマ）の5つの研修を行ってきました。

研修企画では、まず身近な理学療法士の現状として『高齢者の在宅生活を保障する』ことに対して何が不足しているかを話し合い、どんな理学療法士にも最低限必要な知識や技術が何かを絞り込み、講師選定だけでなく講師と部員と一緒に研修プログラムを作成していく、このような過程を取っています。そして部員は皆、年齢、性別、経験、所属が異なるため情報がバラバラで話し合いはすんなり進みません。部会が深夜近くに及ぶことや、部会以外でも研修担当者による打合せが必要なこともあります。しかし、中身の濃い充実した話し合いや研修計画、実施の経験により、部員自身が大変勉強になり、また大きなやりがいも感じられています。

令和7年度からは研修テーマをリニューアルする予定です。また新たにヘビーな話し合いが始まりますが、自分のためにも県士会員のためにもなる企画を考えていきますので楽しみにしてください。

保健福祉部長 藤井幸



イラスト：伊藤健先生（咲楽荘）おこさま

兵庫県理学療法士会

男女共同参画推進委員会

ご質問・ご要望があれば、
お気軽にご連絡ください。

hptdanjyocotoi@gmail.com

